

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	地域活性化イベント開催事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。
	款			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	久々野支所基盤産業課	内線 3533	項目	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	9,000	千円				
				目	1	観光振興費	D				その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	久々野地域住民が主体となって、地域のさらなる活性化・発展を図るイベントを開催し、高山市内外から誘客を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	ひだ桃源郷くぐの観光協会が事務局、中心となって実行委員会を構成し、イベントを開催する。(ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会、ふるさとくぐの会四季のつどい、アルコピアひまわり園、ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り、ひだ桃源郷収穫劇場、アルコピアスノーカーニバル)
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会、ふるさとくぐの会四季のつどい、アルコピアひまわり園、ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り、ひだ桃源郷収穫劇場、アルコピアスノーカーニバル						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	8	7	6
活動指標	イベント開催数	回	実績値	8	7		
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	
活動指標	イベント来場者数	人	目標値	20,000	21,000	22,000	23,000
			実績値	15,138	17,706		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	76	84		
			目標値				
成果面	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
			実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域振興特別予算が平成26年度までであるということから、段階的に自己負担率を増やし、地域で自主的に運営できるよう見直す必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	久々野地域の活性化のためのイベントであるが、効果を検証し必要なイベントは自己負担率を増やし、自主運営できるようにする。
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
次年度の実施方針	久々野地域の活性化のためのイベントであるため継続が必要である。 ・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、負担金と行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	10,479	10,810	10,000	9,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	112	116	108	97
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	ひだ桃源郷くぐのアマゴ釣り大会、ふるさとくぐの会四季のつどい、アルコピアひまわり園、ひだ桃源郷くぐの納涼夏祭り、ひだ桃源郷収穫劇場、アルコピアスノーカーニバル	要求の ポイント	事業 実施の 課題	観光 地域振興特別予算が平成26年度までの時限的の制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。 地域 合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。
------	---	-------------	-----------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	10,000	9,000	△ 1,000	9,000	9,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	10,000	9,000	△ 1,000	9,000	9,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (アルコピアスキー大会開催事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="radio"/> A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款			9	教育費	<input type="radio"/> B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所 地域振興課	内線 3511	項目	5	保健体育費	<input type="radio"/> C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	800 千円				
				1	体育総務費	<input type="radio"/> D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	ウインタースポーツ振興による青少年育成、シニアスキーヤー復活・獲得、アルコピアスキー場の活性化	概要	事業の実施 手法(手段)	小中学生やシニアといった幅広い年齢層を対象にし、技術性の高いスキー大会を開催する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・サロモン杯第29回アルコピアジュニアスキー大会(1月29日) ・HDAD杯第54回アルコピアアルペンスキー大会(2月19日) ・第17回アルコピアスノーボードカップ(2月26日)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	大会開催数	回	目標値	3	3	3	3
	実績値		3				
成果 指標	大会総参加者数	人	目標値	500	450	450	450
	実績値		357				
算出根拠等	年間開催数		達成率(%)	100	100		
	全大会の参加者数		達成率(%)	71	79		
算出根拠等	目標値		実績値				
	達成率(%)						
算出根拠等	目標値		実績値				
	達成率(%)						
算出根拠等	目標値		実績値				
	達成率(%)						
算出根拠等	目標値		実績値				
	達成率(%)						
算出根拠等	目標値		実績値				
	達成率(%)						
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・大会参加者の拡大に向けた新たな展開を検討する必要がある。
---------------------	-------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・アルコピアスキー大会実行委員会を開催し、参加者の増加に向けたPR方法について協議する。	
次年度の実 施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・スポーツ振興だけでなく、スキー場の新たな集客戦略として利用し来場者と参加者の増加を図る。
	<input type="radio"/> 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、負担金、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、他のスキー場との関連やスポーツ大会誘致のあり方について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	800	800	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9	9	9
	受益者 全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・アルコピアスキー大会開催負担金 ジュニアスキー大会 シニアスキー大会 スノーボード大会	要 求 の ポ イ ン ト	事 業 実 施 の 課 題	支 所 ・大会参加者の確保を図り、自主財源を確保するとともに、自主運営 への移行が課題である。	ス ポ ー ツ 推 進 課 ・地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域にお けるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振 興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイ ベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続 する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。	地 域 政 策 課 同上
----------	---	---------------------------------	---------------------------------	--	--	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	800	0	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	社会福祉費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	目			3	老人福祉費			D	その他事業				
担当課	久々野支所 地域振興課		内線					H25計画額		420 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
				実績値	10,405	9,796		
				算出根拠等	達成率(%)	99	93	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
				実績値	150	143		
				算出根拠等	達成率(%)	100	95	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
				実績値	42	39		
				算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91
	活動指標				目標値			
					実績値			
					算出根拠等	達成率(%)		
	活動指標				目標値			
					実績値			
					算出根拠等	達成率(%)		
成果指標				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○ 維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	454	465	462	462
	受益者	久々野区会員(4月1日現在)	(B)	926	903	910

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高 年 介 護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般会計(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
						地 域 政 策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の 自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	課			7	土木費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線 3540		項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000 千円		
				目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	個人名義となっている市所有の道路用地について、分筆及び名義変更を行う	概要	事業の実施 手法(手段)	個人名義となっている市所有の道路用地を調査し、社団法人岐阜県公共嘱託登記士地家屋調査士協会へ登記業務を委託
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	未登記となっている4路線の市道の一部について登記業務を委託し、26筆の所有権移転及び地目変更を行った							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	所有権移転登記完了筆数	筆	目標値	51	26	25	25
		実績値		51	26			
	算出根拠等	分筆・所有権移転数/目標分筆・所有権移転数	達成率(%)	100	100			
	成果 指標	所有権移転登記完了筆数	筆	目標値	100	100	100	100
		実績値		100	100			
	算出根拠等	分筆・所有権移転完了割合	達成率(%)	100	100			
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	個人名義となっている市所有の道路用地が非常に多い。また、現在の登記名義人の理解、相続に関する課題等が多いこと、各筆の境界確定のため道路用地名義人以外の関係者にも現地を立会って頂くことが必要であり、関係者全員の立会い協力について理解を得ることが難しい
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	委託業務を早期に発注し、委託期間を長期とし関係者に時間をかけ粘り強く説明し理解を得る
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
	維持・改善
	縮小

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,774	4,584	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	51	49	54	54
	受益者 市民	(B)	93,608	93,212	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求の ポイント	事業 実施の 課題	維持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
				地域 政策 課	積極的に事業を推進すること

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	5,000	0	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、 安心して暮らせる地域を築くため、 地域の自主的なコミュニティ活動や 環境整備事業の予算枠を確保します。	
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	久々野支所 地域振興課			項	4	社会教育費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線	3513			目	1	社会教育総務費			D					その他事業
										H25計画額	1,200 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	・地域ぐるみで花いっぱい運動を 実践し、美しいまちづくりを 推進する。 ・花いっぱい運動を通じて、 地域住民のふれあいと地域 コミュニティの醸成を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・久々野地域全体へ花苗等を 配布することにより、地域 ぐるみでの花づくりを支援する。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 久々野地域内の町内会へ花苗・肥料を配布 久々野地域内の公共施設へ花苗・肥料を配布 						
活動指標	花苗数	株	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	算出根拠等		目標値	16,446	16,176	16,000	16,000
活動指標	花づくり講習会	回	実績値	16,446	16,176		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	地区花壇数	箇所	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等		実績値	1	1		
成果指標	公共施設数	箇所	達成率(%)	100	100		
	算出根拠等		目標値	43	43	43	43
補足	花いっぱい運動は、地域に根付いており、町内会活動の一環となっている。		実績値	43	43		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・同一事業の関連性の整理を行い、 事業のあり方や一般予算への 引き継ぎを検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 各町内会へ花いっぱい運動の 協力依頼(18町内会・7公共施設) 申込者に花苗の配付(花苗: 14,694株(5種類)、種子: 12dl(1種類)) 統一に向けての本庁と支所との 協議を実施していく。
次年度の 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を推進することで環境 美化の向上や、地域住民が ふれあう機会が創出され 地域の絆や地域を大切に する心などが芽生えること から継続する必要がある。 ・「花いっぱい運動」につ いては、一般予算による 補助金(市民憲章推進事業 補助金、特色ある地区活 動事業補助金等)との整 理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、 市全体のバランスを考 慮し、助成のあり方・事 業費規模などについて 検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	1,190	1,175	1,900	1,200	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	303	301	497	314	
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域ぐるみで花づくりを行い、美しいまちづくりを進めるための花苗等の購入	要求の ポイント	事業 実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自主的な花づくり活動を支援するために継続する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進課 地域政策課
------	--------------------------------------	-------------	-----------------	---	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,900	1,200	△ 700	1,200	1,200	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,900	1,200	△ 700	1,200	1,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	久々野校区文化振興事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながら芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保する。
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3513	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,000 千円			
				目	6	文化振興費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	・優れた芸術文化に触れる機会の充実と地域に根ざした芸術文化の振興を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・質の高い芸術文化の鑑賞など、地域が主体となって取り組めるよう支援する。 ・事業を継続的に実施し、地域住民への浸透を図り、文化活動の向上につなげる。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・桃源郷寄席「春風亭昇太独演会」(10月5日) ・新春ふれあいコンサート キム・ヨンジャ(1月18日) ・文化展、芸能展(10月29日～11月3日) ・ふなやま川柳大会(8月15日)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	事業実施回数	回	目標値	12	10	10	10
	算出根拠等		実績値	11	11		
活動指標	全事業の来場者数	人	目標値	7,000	7,900	5,350	5,500
	算出根拠等		実績値	6,300	6,010		
成果面	算出根拠等		達成率(%)	92	110		
	算出根拠等		達成率(%)	90	76		
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・生涯学習意欲の向上のために、あらゆる機会の提供と鑑賞による文化振興への意識が高まっている。						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・社教活動に対する地域住民の意識は高いので、自主財源の確保に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・自主財源確保のため、チケット売上収入の増加が図られている。
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の 実施方針	・文化芸術活動は、地域の文化振興や芸術性を高め、住民の生きがいづくりや交流の場になっており継続する。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,000	3,000	2,500	2,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	765	768	654	523
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・久々野地区社教開催の桃源郷寄席やふれあいコンサート及び文化祭に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・自主財源を確保しつつ、地域住民の生涯学習意欲を低下させないように支援していく。 ・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課	・同上			

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,500	2,000	△ 500	2,000	2,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	2,500	2,000	△ 500	2,000	2,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ大会支援事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	
種別				款	9	教育費		○	B				一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	久々野支所 地域振興課			項	5	保健体育費			C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
	内線 3513			目	1	体育総務費			D				その他事業
								H25計画額	300 千円				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地区住民	どうしたいのか (意図)	・いつでも、どこでも、だれでもが気軽にスポーツに親しめるようにする。	概要	事業の実施 手法(手段)	・ソフトボール大会、バレーボール大会、野球大会、スポーツフェスティバル、卓球大会、剣道大会、スキー大会
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・第39回町民ソフトボール大会(6月5日)		・黒獅子旗野球大会(6月上旬)					
	・第51回町民バレーボール大会(7月24日)		・ソフトボールクラブ選手権(6月下旬)					
・町民対抗野球大会(8月17日)		・第7回スポーツフェスティバル(10月2日)						
・第42回町民卓球大会(11月20日)		・ふれあいソフトミニバレーボール大会						
・第43回町民スキー大会(3月4日)		・町民剣道大会(3月18日)						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	スポーツイベント開催数	回	目標値	13	13	13	13
		実績値	10	10				
	算出根拠等			達成率(%)	77	77		
	活動 指標	スポーツイベント参加者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800
		実績値	1,664	2,104				
	算出根拠等			達成率(%)	92	117		
	成果 指標	スポーツイベント参加者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800
		実績値	1,664	2,104				
	算出根拠等			達成率(%)	92	117		
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域の自主事業としての事業展開と財源確保により、引き続きの事業実施が必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・自主財源確保のため、参加費の徴収等による収入の増加が図られている。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・スポーツ大会を活発に実施することによって交流の場となっており、スポーツをするきっかけにもなっているため継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	維持・改善	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	400	350	350	300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	102	90	92	78
	受益者	久々野地区住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・久々野地域内での各種スポーツ大会の運営助成	要求の ポイント	・久々野地域の住民の健康づくりとスポーツ振興のために実施	事業 実施 の 課題	支所 ・自主財源を確保しつつ、地域住民のスポーツ意欲を低下させないように支援していく。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
						地域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		350	300	△ 50	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	350	300	△ 50	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20899	久々野支所横住宅管理事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	10 市民のための行政改革を実行します。 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します。 市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。			
	番 号			款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	久々野支所 地域振興課			内 線	項		1 総務管理費	○	C			終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円
				3511	目		8 財産管理費		D			その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	久々野支所横住宅の管理を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	久々野支所横住宅の解体
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値	実績値		
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次年度の実 施方針	維持・改善	地域住民に対し安全に生活していただくために必要な事業である
	拡大	
縮小		
廃止検討		
二次評価	維持・改善	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	1,274
受益者1件当たり(円)	(A/B)				0
受益者	久々野地域の住民 (B)	0	0	0	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	久々野支所横住宅の解体に係る経費	要求の ポイント	事業実 施の課 題	支所	施設の適正な管理と必要がある。	管 財 課	解体後の敷地については、優良宅地の供給のため売却方法を検討する必要がある。
				地域 政 策 課	同上		

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	1,274	1,274	1,217	1,217	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	1,274	1,274	1,217	1,217		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	公有財産購入事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画		市長 公約	
	課			款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 地域振興課			項	1 総務管理費		○	C				終期を定めて実施する事業・単年度事業
				内線	目		8 財産管理費	D				その他事業
			3511									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・基金の適正管理	概要	事業の実施 手法(手段)	・土地開発基金保有地の買戻し
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
				目標値			
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果面			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
		算出根拠等	達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
担当課 評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
基金の適正管理に必要である。	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)				8,400
	受益者1件当たり(円) (A/B)				2,198
	受益者 久々野地域住民 (B)				3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地開発基金保有土地(久々野中学校学校林用地)の買戻し	要求の ポイント	事業実施の 課題	管財課 ・他の土地開発基金保有地についても計画的な買戻しが必要である 地域政策課 ・同上
			・合併前に基金で取得した用地の買戻しが必要である。	

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	8,400	8,400	16,600	16,600	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	0	8,400	8,400	16,600	16,600		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業	内線	3513	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動を支援します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所 地域振興課	内線	3513	3513	特別 予算の 位置 付け	C	〇 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,000 千円		
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	「地域おこし協力員」と地域団体が協働して地域おこし活動に取り組むことにより、地域の活性化と地域力の維持・向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・農山村地域の活性化に対して意欲ある都市住民(若者等)を「地域おこし協力員」として委嘱する。 ・地域の受入団体と協働して、地域活動(体験メニュー支援、観光宣伝・誘客活動、特産品開発、イベント企画)に取り組む。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・あらかぎパークでの「わかさぎ釣り」の企画 ・道の駅でのパン・ドーナツの試作、販売						
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	地域資源の活用や地域振興策の提案件数		件	目標値 実績値		2 2	2	2
算出根拠等		達成率(%)			100			
成果 指標	指標名		単位	目標値 実績値	H22	H23	H24	H25
	地域資源の活用や地域振興策の提案件数		件	2 2	2	2	2	2
算出根拠等		達成率(%)			100			
成果 指標	指標名		単位	目標値 実績値	H22	H23	H24	H25
	わかさぎ釣り人数		人	450 450		450	-	-
算出根拠等		達成率(%)			100			
成果 指標	指標名		単位	目標値 実績値	H22	H23	H24	H25
算出根拠等		達成率(%)						
成果 指標	指標名		単位	目標値 実績値	H22	H23	H24	H25
算出根拠等		達成率(%)						
補 足	指標名		単位	目標値 実績値	H22	H23	H24	H25
算出根拠等		達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・「地域おこし協力員」の2年目で協力員が交代したことによる新たな活動が始まったので、新協力員の視点での地域おこし活動を久々野地域全体に広める必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・地域おこし協力員の存在を町内に周知するため、町内の各種団体へ周知活動の実施。 ・Facebookによる久々野地域の情報発信の実施。 ・道の駅内での販売促進を図るための提案や体験メニューの実施を進める。	
次 年 度 の 実 施 方 針	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・久々野地域にある資源の活用を図り、地域活性化を推進するためには、地域おこし協力員活動は必要である。
	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・活動目標を明確化するとともに活動拠点以外の地域での交流などにより地域との連携を強化する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	2,141	3,300	3,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	548	863	916
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,923	3,905	3,822	3,822

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・道の駅なごさき及び久々野地域での観光宣伝や体験メニューなどの実施 ・特産品の開発や販売方法の開拓	要 求 の ポ イ ン ト	・地域おこし活動を実践するための活動費	事業 実 施 の 課 題	支 所	・道の駅なごさきを中心とした地域との連携を進めながら、地域の状況を把握し、活動目標を達成するための支援を進める。	地 域 政 策 課	・協力員の活動目標の明確化と、受入団体の体制及び地域との連携を強化することが必要である。
	地 域 政 策 課							

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,300	3,500	200	3,200	3,200		
財 源 内 訳	国庫支出金			0			・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,300	3,500	200	3,200	3,200		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53199	地域生活道路環境保全事業(林道)	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・農業生産額250億円を目指します。
種別				款	5 農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 基盤産業課			項	3 林業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			
内線	3531			目	1 林業総務費		D	その他事業			
H25計画額										千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	地域間を結ぶふるさと林道は地域住民の重要な道路となっており、交通安全上道路幅を確保するため除草作業を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	(一社)高山市シルバー人材センターへ清掃草刈り業務を委託する。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	H24新規事業							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果 指標	林道除草延長	m	目標値			25,157	25,157
		実績値						
	算出根拠等	実施済除草延長	達成率(%)					
	成果 指標			目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果 指標			目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果 指標			目標値				
				実績値				
算出根拠等		達成率(%)						
成果 指標			目標値					
			実績値					
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
担当課 評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	各地域において草刈り作業を実施していたが、高齢化などにより林道農道などを含めすべてを管理することができなくなってきているため、継続実施が必要である。
二次 評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	
実施方針		・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			262	262
	受益者	久々野地域住民	(B)	0	0	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	地域間を結ぶ幹線林道の路肩の草刈り、清掃業務	要求の ポイント	路肩の草刈り、清掃を実施することにより、安全で快適な林道環境を確保	事業 実施 の 課題	支所 幹線林道以外の林道については、地域や林業者の自主的な維持管理をお願いしているが、高齢化などにより継続が危ぶまれる状況であり、検討が必要である。	林務課 ・主要路線を実施しているが、今後の維持管理の方法を検討する必要がある。	地域 政策 課 樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。
------	------------------------	-------------	-----------------------------------	---------------------	---	--	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,000		1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金							
県支出金							
その他							
一般財源	1,000	1,000		1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	位山舟山自然公園環境整備事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺自然环境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します。
種別				款	6 商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 基盤産業課			内線	2 観光費		○ C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			
		3531	目	3 自然公園費	D その他事業	H25計画額	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	位山、あらかぎ湖、舟山を一体とする自然公園を地域資源が持つ本来の魅力を磨き市民や観光客などが活用できるものとする。	概要	事業の実施 手法(手段)	・花木園及び登山道環境整備
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	H24新規事業							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果 指標	登山者数	人	目標値			150	150
		実績値						
	算出根拠等	登山者数		達成率(%)				
	成果 指標	目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標	目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果 指標	目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
成果 指標	目標値							
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度 の実施 方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	今年度整備した遊歩道等を、多くの市民や観光客に利用していただくため事業の継続は必要である。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	16,000	3,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			4,186	785
	受益者	久々野地域住民	(B)	0	0	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	遊歩道、登山道の草刈り、補修	要求の ポイント	遊歩道、登山道の草刈り、補修を実施することにより、安全で快適な環境を整備し、市民や観光客の利用増を図る。	事業実施 の課題	遊歩道、登山道の適切な維持管理のため、毎年継続して実施することが必要である。	環境政策 推進課	久々野地域の振興における位山、舟山の位置づけを明確にして事業展開を図る必要がある。
						地域政策課	実施による効果を検証し、事業展開を十分検討することが必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	16,000	3,000	△ 13,000	3,000	3,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金					0		
県支出金					0		
その他					0		
一般財源	16,000	3,000	△ 13,000	3,000	3,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72399	市道改良事業	内線 3540	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	6 市民の生活と生命・財産を守ります。 支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。
	款				7 土木費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
	項				2 道路橋りょう費	○ C		終期を定めて実施する事業・単年度事業					
	目				3 道路新設改良費	D		その他事業					
担当課	久々野支所 基盤産業課								H25計画額	5,000 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたいのか (意図)	災害時の指定避難所である久々野中学校までの最短道路確保及び地域間の連絡道路を整備する。	概要	事業の実施 手法(手段)	コスト削減を踏まえた舗装工事の実施
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	舗装工事 A=735.00㎡							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	舗装新設		㎡	目標値		735	1,180	800
				実績値		735		
	算出根拠等	延長×幅		達成率(%)		100		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	全体の7割程度の完成だが、交通量は微増となっているため計画区間の早期完成が必要
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	多くの地域住民に利用してもらうため舗装工事完成の周知に努める
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
	維持・改善
	縮小

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	3,255	5,000	3,600
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		834	1,308	942
	受益者 地域住民	(B)	0	3,905	3,822	3,822

5 予算編成(Action2)

事業 内容	西洞3号線舗装新設	要求の ポイント	・緊急時の避難道路整備 ・生活道路の充実	事業 実施の 課題	支所	建設課	施工手法の検討を行い、さらにコスト削減に努める。
						地域 政策 課	計画的に実施し、地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	3,600	△ 1,400	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,000	3,600	△ 1,400	4,000	4,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	地区公園整備事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます 市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
	款			7	土木費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線 3540		項	4	都市計画費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円
				目	6	公園管理費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	安全に幼児が利用できる公園がないため、現在ある地区公園を改修する。	概要	事業の実施 手法(手段)	現在設置されている老朽化した遊具や施設の修繕を行い、周囲に安全フェンスを設置するとともに幼児等利用しやすいトイレの改修工事をを行う。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	なし							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	公園面積	㎡	目標値				1,500
		実績値						
	算出根拠等	桃源郷公園面積		達成率(%)				
		年間公園利用者数(桃源郷公園)		人	目標値			
	成果 指標	算出根拠等			実績値			
		1週144人(平日80人土日64人)*4週*2か月*1.1		達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善
	二 次 評 価	拡大
		縮小
		廃止検討
維持・改善		
二次評価	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	8,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				86
	受益者	全市民	(B)			92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・桃源郷公園整備工事 (フェンス設置・インターロッキング補修・遊具塗装・照明灯設置・トイレ整備・ 給排水)	要 求 の ポ イ ン ト	支 所	・誰にもやさしいまちづくり条例に基づいた公衆便所整備の必要性 ・維持管理費の抑制を考えた整備 ・利用効率を考えた地区公園の今後の整理	都 市 整 備 課	・安全対策及び衛生上において、フェンスと便所の改修は必要である。 また、新設する便所については、「高山市誰にもやさしいまちづくり条例」への 一定の配慮が必要である。 ・維持管理費に十分配慮した整備が必要である。
					地 域 政 策 課	・地域内の公園整備の方針と、事業効果を十分検討したうえで整備する必要 がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			8,000	8,000	5,000	5,000	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		8,000	8,000	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	堂之上遺跡PR看板管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	久々野支所 地域振興課			項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	内線 3511			目	7	文化財費		D	その他事業		
								H25計画額		千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・堂之上遺跡施設の維持管理を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・堂之上遺跡PR看板の解体 ・堂之上遺跡入口看板周辺の支障木伐採
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
成果 指標	入館者数	算出根拠等	人	目標値				350
				実績値				
				達成率(%)				
成果 指標	入園者数	算出根拠等	人	目標値				1,200
				実績値				
				達成率(%)				
成果 面	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
成果 面	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
補 足	算出根拠等			目標値				
				実績値				
				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	
次年度 の実施 方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・地域住民に利用していただくためには必要な維持管理である。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	955
受益者1件当たり(円)	(A/B)				250
受益者	久々野地域住民 (B)	0	0	0	3,822

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・堂之上遺跡施設の維持管理	要 求 の ポ イ ン ト	・堂之上遺跡PR看板の解体及び、堂之上遺跡入口看板周辺の支障木伐採にかかる経費	事業 実施 の 課 題	・施設の適正な維持管理として必要がある。	文 化 財 課	・地域の財産として文化財を保護・啓発するために、また、郷土学習としても施設のPRは必要であり、看板整備は有効である。樹木所有者との協議が必要である。 ・国道沿いの看板撤去については、費用対効果等も考慮し、検討が必要と考える。
地 域 政 策 課							里山景観に配慮した整備手法の検討が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	955	955	0	0	・看板の撤去は予算計上を見送り ・支障木伐採は、地域要望対応事業で対応	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	955	955	0	0		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21099	地域市民活動推進事業 (ふるさと交流事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の特性のあるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動を支援します。
種別				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 地域振興課			項	1	総務監理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3511			目	10	市民活動推進費		D	その他事業				
								H25計画額	280	千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	三重県南伊勢町との市民相互の地域イベントや伝統芸能の披露など、交流事業を通して住民同士の世代を超えて交流を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・久々野地域における活性化イベント(ひだ桃源郷収穫劇場)への出店、南伊勢町の伝統芸演技披露、住民の受入。 ・南伊勢町の地域イベントにおける久々野特産品の販売や伝統芸能の披露派遣。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・平成23年9月24日(土)の受入事業には南伊勢町から24人が来町され、歓迎交流会を開催。翌25日(日)「ひだ桃源郷収穫劇場2011」に海産物の販売等により久々野地域関係者及住民との交流を深めることができた。また、南伊勢町「ふれあい市」へ参加し飛騨地域の特産品のPRを行うとともに、イベント前日には行政、観光協会関係者等の歓迎交流会が開催され交流を深めた。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	参加人員		目標値	25	25	25	25
		実績値	16	16				
	算出根拠等	参加人数/計画参加人数		達成率(%)	64	64		
	成果指標	実行委員会参加率		目標値	20	20	20	20
		実績値	4	3				
	算出根拠等	実行委員会参加人数/実行委員会構成人数		達成率(%)	20	15		
				目標値				
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・観光都市「飛騨高山」及び地域ブランドPRには効果があったが、人的交流の部分を中心に検討するとともに参加人員を増やすことにより目的達成や費用効果を高める必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・実行委員会が自主運営に移行できるよう、補助金に頼る運営でなく、受益者負担割合を決めるなど事業内容を精査し検討する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・参加人員の増加を目指し人的交流の幅を広げ、久々野地域への集客宣伝に努める。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き地域に根付いた交流が続けられるよう、補助金に頼らず自主的運営に向けた取り組みを段階的に進めていく必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	365	300	290	280
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	93	77	76	73
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	南伊勢町との交流にかかる経費	要求のポイント	事業実施の課題	市民活動推進課	地域に根付いた交流事業として、当面当事業を継続する中で、実行委員会での自主的な事業実施など事業のあり方について検討する必要がある。
				地域政策課	特定地域における他自治体との交流事業に対し、市全体としての取組み方針を定める必要がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		290	280	△10	280	280	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	290	280	△10	280	280		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21099	交通安全普及啓発事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
				款	2 総務費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 地域振興課			項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業			
	内線 3513			目	10 市民活動推進費		D その他事業			
								H25計画額	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・交通安全意識の向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・交通安全パレードの実施(久々野保育園児、交通安全協会員、久々野区長寿会、高山市交通安全推進員) ・セレモニーの実施(表彰等)
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・9月27日(火) 交通安全パレード、セレモニー							
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指 標	パレード参加者数	人	目標値	200	200	200	200
				実績値	194	195		
				算出根拠等	達成率(%)	97	98	
	活動 指 標	参加団体数	団体	目標値	6	6	6	6
				実績値	6	6		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果 指 標	会場来場者数	人	目標値	400	400	400	400
				実績値	310	320		
				算出根拠等	達成率(%)	78	80	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域全体のバランスを含め、交通安全協会主体の取り組みを検討する必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・交通安全パレードの実施に向けた関係者による打合せ会議を実施	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・久々野地域の交通安全啓発の一助となっており引き続き事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 76	70	80	80
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 19	18	21	21
	受益者	久々野地区住民 (B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・交通安全意識の向上を図るための交通安全パレード・セレモニーの実施	要求の ポイント	事業 実 施 の 課 題	支 所	・地域全体のバランスを考慮した関係団体との調整	市 民 活 動 推 進 課	事業のあり方について、関係団体等との調整が必要である。
						地 域 政 策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		80	80	0	0	0	・実施計画どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	80	80	0	0	0		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	54199	地域生活道路環境保全事業(農道)	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	3 産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します。 ・農業生産額250億円を目指します。
種別				款	5 農林水産業費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	久々野支所 基盤産業課			項	4 農業土木費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	内線 3531			目	1 農業土木総務費		D その他事業				
							H25計画額	500 千円			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	広域営農団地農道は、飛騨農林事務所より管理移管を受け、高山市が管理することになっており、交通安全上片側一車線の道路幅を確保しなければならないため除草作業を行う。	概要	事業の実施 手法(手段)	(一社)高山市シルバー人材センターへ清掃草刈り業務を委託する。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	広域営農団地農道 大坊~有道間							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果 指標	農道除草延長	m	目標値	11,473	11,473	11,473	11,473
	算出根拠等	実施済除草延長		実績値	11,473	11,473		
成果 面				達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	安全で快適な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	各地域において草刈り作業を実施していたが高齢化などにより林道農道などを含めすべてを管理することができなくなってきた。このため集落間を結ぶ幹線道路について実施したが、その他の集落内道路は、地域にお願いし実施した。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	各地域において草刈り作業を実施していたが高齢化などにより林道農道などを含めすべてを管理することができなくなってきたため継続は必要である。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	・農道の草刈りについては、地域や営農者による自主的な維持管理を求める必要がある。 ・他の事業との関係の整理、助成のあり方などについて検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 393	439	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 99	112	131	131
	受益者	久々野地域住民 (B)	3,961	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・広域営農団地農道の路肩の草刈り、清掃業務を行う。	要求の ポイント	・路肩の草刈り、清掃を実施することにより、安全で快適な農道環境を確保する。	事業 実施 の 課題	農務 課	・集落内の農道については、地域や営農者による自主管理を求めているが、不特定多数の利用がある幹線農道については物流経路、安全確保のためにも事業を継続する必要がある。
					地域 政策 課	・樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全体的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	500	500	0	500	500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72299	地域生活道路環境保全事業(市道)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 市民の生活と生命・財産を守ります
	課			7	土木費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線 3540	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費	H25計画額	1,000 千円			
				7	土木費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地域住民	どうしたい のか (意図)	市内の町内会と町内会を結ぶ市道について、地域住民に草刈をお願いしているが延長が長く地元町内会ではなかなか実施できない。また、景観保全や交通事故防止も含め草刈を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	道路除草 市道平野線他5路線	
	対象者数	3,822 人						

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	委託延長13,340mを7月より11月までの5か月間、随時道路除草作業を実施							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	道路除草延長	目標値	m			13,340	13,340	13,340
		実績値			13,340			
	算出根拠等			達成率(%)		100		
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等	目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等	目標値							
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	安全で快適な通行を確保するためには、道路の環境整備が必要不可欠であり今後も引き続き事業継続に努める必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地域で行われてきた草刈作業が実施されない状況となってきたため、各町内会でも実施して頂く様依頼する
次年度 の実施 方針	維持・改善
	拡大
	縮小
	廃止検討
	維持・改善
	縮小

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	512	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)		131	262	262
	受益者	地域住民	(B)	0	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	市道沿道の草刈清掃	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	維持 課	地域間を結ぶ市道であり距離も長いため、地域住民だけでは対応できない。市道の交通安全や景観保全のため業務を委託する。
			支所	地域政策 課	地域で行われてきた草刈作業が実施されない状況となっているため、今後除草延長が増加する恐れがある 樹木等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全庁的な検討、調整が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	三重県南伊勢町 五ヶ所小学校交流促進事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	久々野支所 地域振興課	内線 3511	項目	2	小学校費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	700 千円			
				目	2	教育振興費	D			その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	山村地域と沿岸地域という両地域の特性を生かした交流活動を行い、各種体験を通して、友情を深め感謝の気持ちや満足感などを感じることで、自覚をもち自ら学び考える力を育てる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・夏の交流は、五ヶ所小学校を訪れ、地引網による漁業体験やカッター、小型ヨットなどに乗り海上体験を行い沿岸地域の生活様式などを学ぶ。 ・冬の交流はアルコピアスキー場において、そりやスキーなどの雪上体験や冬季の山村の生活様式を紹介し一緒に体験することで郷土を大切にすることを育む。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	夏の交流は南伊勢町でヨット体験、干物づくり、ミカン栽培やキャンプファイヤー等の体験。冬の久交流会ではアルコピアスキー場でスノーモービル体験や、スキーを教えたり、そり遊びを行い友情を深めた。沿道でお迎え看板を作成し出迎えるたり、地域団体の協力による雪上迷路体験など、学校だけでなく久々野町と南伊勢町の地域ぐるみの交流を行った。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	参加人数	人	目標値	54	49	60	36
		実績値	54	49				
	成果 指標	参加率	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100				
	算出根拠等	参加児童数/小学校5年生児童数		達成率(%)	100	100		
		参加実績率/参加目標率		達成率(%)	100	100		
	算出根拠等			目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	算出根拠等			実績値				
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・実行委員会では長年続いている五ヶ所小学校交流事業の継続を強く望んでおり、積立金等を行い自主運営ができる事業になるよう検討している。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・自主運営による事業に移行できるよう必要経費を受益者負担できるよう資金積立を始めている。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	・環境の違う地域と交流することで、互いの生活様式を学習し自ら学び考える力をつけている。 ・PTAと協働する事業で事業効果は地域住民に広がり地域をつなぐ絆づくりに有効であり継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	700	620	700	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	178	159	183	183
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業 内容	五ヶ所小学校との児童交流事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	学校 教育 課	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。
					地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		700	700	0	700	700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	700	700	0	700	700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	ふるさと名人継承事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次世代へ継承します。 ◎芸術文化の振興を積極的に支えます。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいを、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながら芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算率の1%以上を確保する。
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					C
担当課	久々野支所 地域振興課		内線	項	4	社会教育費		D	その他事業					
			3513	目	6	文化振興費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	・「小屋名しようけ」「有道しゃくし」の技術の普及と後継者の育成を行い、後世に引き継いでいく。	概要	事業の実施 手法(手段)	・講習会を実施する。(10回)
	対象者数	3,822					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・「小屋名しようけ」:11月から3月までに10回の講習会を開催 ・「有道しゃくし」:11月から3月までに10回の講習会を開催							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	受講申込者数(小屋名しようけ)	人	目標値	20	20	20	20
		実績値	15	24				
	算出根拠等			達成率(%)	75	120		
	活動 指標	受講申込者数(有道しゃくし)	人	目標値	10	10	10	10
		実績値	7	7				
	算出根拠等			達成率(%)	70	70		
	活動 指標	継続受講申込者数	人	目標値	15	15	15	15
		実績値	6	11				
	算出根拠等			達成率(%)	40	73		
	成果 指標	新規受講申込者数	人	目標値	15	15	15	15
		実績値	16	20				
算出根拠等			達成率(%)	107	133			
成果 指標	修了証交付者数(小屋名しようけ)	人	目標値	15	15	15	15	
	実績値	13	14					
算出根拠等			達成率(%)	87	93			
成果 指標	修了証交付者数(有道しゃくし)	人	目標値	8	8	8	7	
	実績値	5	5					
算出根拠等			達成率(%)	63	63			
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・保存会の自主的な活動に向けた方向性が必要である。
---------------------	---------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・技術伝承者を保存会に加入してもらうために、優秀な伝承者の掘り起こしと加入に向けた検討を保存会と協議している。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	・地域の伝統技術伝承の視点から次世代に残し、先代の知恵や技術を受け継ぎ、郷土に愛着を持ち守っていくことは重要であるため継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・価値について検証する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	122	167	220	220
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	31	43	58	58
	受益者	久々野地区住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・「小屋名しようけ」「有道しゃくし」の講習会開催(各10回開催)	要求の ポイント	・郷土の工芸品を守るために必要な講習会経費を計上する。	事業 実施 の 課題	支所	・保存会と協働して、郷土工芸を伝承していくことは必要なことであるので、支援をするとともに、保存会への加入促進を進める。	生涯 学 習 課	・郷土に伝承する優れた技術の継承事業は、飛驒の匠の心と技を伝える有意義な事業であるとする。 ・飛驒の匠認証制度、伝承技術人材育成助成制度の創設に向けた取組みの中で、本事業のあり方も併せて検討されるべきものとする。	地域 政 策 課	・実績を踏まえた事業内容の検証が必要である。
------	----------------------------------	-------------	-----------------------------	---------------------	----	---	-------------------	---	-------------------	------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		220	220	0	220	220	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	220	220	0	220	220		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	内線	3511	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	「合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り 合って取り組む活動に支援します。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所 地域振興課					C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	7,500	千円	
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域住民が自分たちの地域を、自分たちの手でより良くしていく活動に対し支援する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域の人材や労力を活用し、助言や経費などを支援することにより、生活環境などを整備する。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業 20団体		・特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業 11団体					
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
活動 指標	申請数	件	目標値	45	40	40	40	
	実績値		実績値	39	31			
成果 指標	補助件数	件	目標値	45	40	40	40	
	実績値		実績値	39	31			
成果 指標	補助金交付率	%	目標値	95	95	95	95	
	実績値		実績値	86	88			
成果 指標	算出根拠等	予算執行額/予算額	達成率(%)	91	92			
	算出根拠等		達成率(%)					
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	・申請団体の活動に対する参加者も増え、住環境整備だけでなく地域振興的な事業にも取り組んでいる。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民が安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業を支援することは、地域社会を育成するために必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」については14団体が実施中、また、「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」については9団体が実施中である。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市民が安心して暮らせる地域を守るため引き続き、「安全、安心、快適な住環境づくりに関する事業」及び、「特色ある地域づくり、地域活性化に関する事業」を継続する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	6,031	6,147	7,500	7,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,537	1,574	1,962	1,962
	受益者	久々野地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		7,500	7,500	0	7,500	7,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	7,500	7,500	0	7,500	7,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の個性を伸ばします。
	款			2	総務費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	久々野支所 地域振興課	内線 3511	項	1	総務管理費	目	9	企画費	H25計画額	10,000 千円			
				○	D		その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	久々野地域住民	どうしたい のか (意図)	地域の要望に対して早急に対応を行い地域の環境整備を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	地域の要望により市道や農道、水路等の軽微な修繕を実施。
	対象者数	3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・市道修繕(7件)、河川整備(3件)、公共施設修繕(6件)、林道崩土除去(1件)、排水路修繕(2件)、防火水槽修繕(1件)							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	要望事項受付数	件	目標値	20	20	20	20
				実績値	21	20		
		算出根拠等	要望事項受付数/要望事項受付目標数	達成率(%)	105	100		
	成果 指標	要望事項実施率	件	目標値	20	20	20	20
				実績値	21	20		
		算出根拠等	実施数/要望事項実施目標数	達成率(%)	105	100		
	成果 面				目標値			
					実績値			
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果 面				目標値			
					実績値			
算出根拠等			達成率(%)					
成果 面				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	・地域住民からの要望を精査し関係課と協議し予算執行できるよう調整している。							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・町内からの要望書を取りまとめ、現地調査により実施箇所を検討した上で事業実施している。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市道や施設等を良好な状態に保ち、市民が安心して安全に暮らせる地域を築くために継続する必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応について検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	9,665	11,481	8,500	11,252
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,464	2,940	2,224	2,944
	受益者	久々野区地域住民	(B)	3,923	3,905	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,500	11,252	2,752	7,100	7,100	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	8,500	11,252	2,752	7,100	7,100		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	土地借上料	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約
種別						○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	久々野支所 基盤産業課	内線	項			C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円
		3531	目			D その他事業		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 久々野地域住民	どうしたいのか (意図)	久々野地域の公共施設維持のための土地の借り上げ	概要	事業の実施 手法(手段)	久々野地域の公共施設を維持運営するため、旧久々野町時代から民間から借り上げている土地の中で高山市の借り上げ基準を上回る物件についての借上げ
	対象者数 3,822 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコピアスキー場土地 ・駅駐輪場 ・堂之上遺跡 ・久々野診療所及び久々野東部診療所 							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	高山市土地借り上げ基準達成件数	目標値	件		5	5	5	5
		実績値			0	0		
		算出根拠等		達成率(%)	0	0		
		目標値						
		実績値						
		算出根拠等		達成率(%)				
		目標値						
		実績値						
		算出根拠等		達成率(%)				
		目標値						
		実績値						
算出根拠等			達成率(%)					
	目標値							
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づきよう交渉していく。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	地権者と条件や期間などについて粘り強く交渉し、高山市の基準に近づきよう交渉していく。
次年度の 実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討 <p>公共施設として地域住民が利用しており、維持運営するための土地借り上げは必要である。</p> <p>・市の基準に近づきよう単価交渉を継続する必要がある。</p>

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,913	5,295	5,299	5,299
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1,507	1,356	1,386	1,386
	受益者 久々野地域住民	(B) 3,923	3,905	3,822	3,822

5 予算編成(Action2)

事業内容	・土地借上料	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	・高山市の借上げ基準となるよう土地所有者と交渉する必要がある。	複数 課	・施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づきよう単価交渉を継続する必要がある。
						地域 政策 課	・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,299	5,299	0	5,299	5,299	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,299	5,299	0	5,299	5,299		